

進路だより




令和6年5月31日
岐阜県立恵那特別支援学校
進路支援部 No. 1

「進路だより」では、進路に関係した学習や取組についてお知らせしながら、卒業後への見通しをもったり、小学部・中学部・高等部それぞれの段階で身に付けたい力について考えたりできるようにしていきたいと考えています。今年度はじめの進路だよりでは、作業学習とそれに加えて行っている実習等についてお伝えします。

中学部・高等部の教育課程(知的障がい)には、「作業学習」という授業があります。作業学習では、「働く人になる」ことを目標に、将来働いて自立した生活を送るための力を付けるため、いくつかの班に分かれて行っています。






【中学部の作業学習】

週に4時間(火・木曜日に2時間ずつ)、3つの作業班に分かれて学習しています。3年間の内に複数の班を体験する中で、決められた作業を丁寧に行うこと、自分の得意・不得意を知ることなどができるようにします。

紙工班	クラフト班	陶芸班
<p>牛乳パックを材料にして紙すきをし、紙製品を製作しています。いくつかの工程を分業化して取り組んでいます。</p> 	<p>刺し子とステンシルの製品を中心に製作しています。きれいな製品にするために、一人一人が考えながら作業をしています。</p> 	<p>粘土でお皿やコップ、ヘアゴムを作っています。粘土用のこてを使って、表面にしわが入らないよう、丁寧に締めていきます。</p> 

【高等部の作業学習】

週10時間、6つの作業班に分かれて学習します。「休まず毎日参加する力」「ルールやマナーを守る力」「任されたことを最後までやりぬく力」「自分から報告、連絡、相談できる力」を身に付けられるように、取り組んでいます。

<p>窯業班</p>  <p>たたら成型やろくろ成型でお皿やお茶碗等の製品を作っています。粘土を締める作業や切る作業等、複数の工程を丁寧に行います。</p>	<p>木工班</p>  <p>カッティングボードや木べら、組木等の木工製品の製作・販売を行っています。一つ一つの作業を丁寧に行い、良い製品になるよう心がけています。</p>	<p>縫製班</p>  <p>ミシンを使って、ポーチや巾着袋、トートバッグ等の布製品を作っています。製品に合う布やボタン等を選び、一つ一つ丁寧に作っています。</p>
<p>工芸班</p>  <p>経糸と横糸の色の組み合わせを考えながらはた織りをしています。できた布をミシンで縫って、バッグやポーチ等の製品にしています。</p>	<p>クリーンサービス班</p>  <p>清掃や喫茶といったサービスの技能とともに、コミュニケーションの取り方を学んでいます。作業効率を考えながら取り組めるように学んでいます。</p>	<p>軽作業班</p>  <p>ビーズを使った製品や、牛乳パックのパルプで作る油とり等を作っています。手元をよく見て作業に取り組むことに気を付けています。</p>

【実習等について】

作業学習は、学校という慣れた場所で、同じ学部の仲間と、年間を通して取り組みます。働くことについて基本的なことを押さえるためには有効ですが、高等部卒業後の就労先での仕事の内容、時間と比較すると、より実際の職場に近い場面での学習も必要となります。

そのため、中学部・高等部では、以下のように、普段と違う形で働く学習を行い、働く意欲を高めながら、自分に必要な力を知り、身に付けていけるようにします。

中学部

◇作業学習集中期間

- ・普段所属している作業班で行います。
- ・通常の作業学習は火・木曜日の2時間ずつですが、作業学習集中期間中は、1日中作業学習だけの時間割とし、3～5日間続けて行います。

実施期間	前期（3日間）、後期（5日間）
------	-----------------

※実施期間中に校内作業実習(高等部)の見学を行うこともあります。

高等部

◇校内作業実習[高等部1・2年生]

- ・地域の会社からいただいた仕事(普段と違う作業)に、学校内で取り組みます。作業後には会社への納品があるため、より正確な作業が求められます。
- ・普段の作業班とは別のグループで、1日働く経験をします。

実施期間	高等部1年生	前期（2週間）、後期（2週間）
	高等部2年生	前期（1週間）※次の週に現場実習を実施

◇企業内作業学習[高等部1年生]

- ・学校内での作業学習に加え、企業内での作業学習を行うことで、企業で働くために必要な力を知ることと、自分にどんな仕事・職種が合っているかを知るための学習となります。
- ・対象生徒については、当校では、作業学習や校内作業実習等の様子等から、卒業後に一般就労または就労継続支援A型事業所（どちらも雇用契約を結ぶ）が考えられる生徒としています。

実施期間	後期（3日間）×2回（予定）
------	----------------

◇現場実習・インターンシップ°（5組のみ）[高等部2・3年生]

- ・卒業後に就職や利用を考えている企業や事業所に実際に通い、1～2週間、実習を行います。
- ・実習先への通勤方法や、帰宅後や休日の過ごし方等、仕事(作業)だけでなく、社会人としての生活リズムをつくっていく上で大切なことについても考えます。
- ・2週間の実習を行う中で、実習先の方に、働く力について評価していただいたり、生活面で必要なことについて教えていただいたりします。
- ・3年前期の現場実習後には、自分がどの職場でどのように働きたいのか、進路についての意志を固め、進路先を決めます。後期の現場実習には、就職試験のつもりで取り組みます。

実施期間	高等部2年生	前期（1週間）、後期（2週間）
	高等部3年生	前期（2週間）、後期（2週間）

※5組のインターンシップの期間については別途お知らせします。

実習の際には特に、生活のリズムを整えたいうえで取り組めるよう、ご協力ください。その他必要なことは、実習前に確認します。よろしくお祈いします。